

### 1. 授業の基本情報

保健体育科教育法 2 は、保健体育科教育法のうち、特に中学校および高等学校の保健科教育の内容について学習する授業である。授業は単独で行っており、登録学生は教育学部中等教育、小学校サブコース、社会共創学部の学生、計 13 名である。

### 2. 授業評価・授業研究の内容

授業の 15 回目にアンケート調査を実施した。回答数は 13 名(回収率 100%)であった。アンケート結果について表 1 にまとめる。アンケートでは、保健の目標及び内容、評価、様々な学習について尋ねた(下記、アンケート項目参照)。この他、授業の進め方等についての要望について自由記述により回答を求めた。

＜アンケート項目＞

- Q1 中学校保健分野における目標および内容を理解できた
- Q2 高等学校科目保健における目標および内容を理解できた
- Q3 保健の評価の方法について理解できた
- Q4 保健の様々な学習方法について理解できた

表 1 アンケート結果

	とても理解できた	まあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
Q1	5 (38%)	8 (62%)	0	0
Q2	2 (13%)	9 (60%)	2 (13%)	2 (13%)
Q3	1 (7%)	11 (79%)	1 (7%)	1 (7%)
Q4	10 (77%)	3 (23%)	0	0

その結果、すべての項目において概ね理解できている状況であった。そのうち、Q1-Q3 の内容(中学および保健の目標や内容、保健の評価)は「まあ理解できた」の割合が 6~7 割であり、「とても理解できた」とする回答が少なかった。保健の目標や内容についてだが、特に中学校の内容は、新学習指導要領が発表

された間もない時期であったため、改訂点の説明が多くなってしまい、内容の十分な理解が図られなかった可能性が考えられる。今後は、目標および内容を十分理解できるよう、内容をもう一度整理し、分かりやすい授業を行っていききたい。他方、Q4 については 7 割の学生が「とても理解ができた」と回答していた。このことは、保健で活用できる様々な学習方法について、グループ活動を通して実際に体験したことにより理解が深まったと考えられる。今後も学生の主体的な学びを重視し、より内容を理解できるような授業計画を立てていきたい。

### 3. 「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

本授業では、中学および高等学校の保健学習の授業づくりについて学ぶ際、愛媛県内公立小学校における研究大会の保健の授業について VTR で視聴させた。これは、県内で養護教諭との T・T (ティーム・ティーチング) や IT を活用した授業実践を録画したものであり、筆者が指導助言としてかかわったものである。具体的には、けがの防止、心と体の発達、生活習慣に関する内容であった。

VTR は中学校や高等学校の取り組みではないが、保健の内容は小・中・高と系統的に学ぶこととなっており、小学校の授業実践は参考になることが多い。そもそも、すぐれた保健の授業実践の公開が少ないため、身近な地域の小学校の実践は参考になる内容であった。また、VTR の保健の授業では、様々な学習方法を提案しており、中学・高校においても役立つ内容が多かった。学生の反応としても、実際の教員の様子を見ることは言葉では伝わらない学びがあったと推察される。

今後も、こうした地域のすぐれた指導実践の成果を学生に伝え、学生教育の充実を図っていききたい。また、自分自身も地域の教育実践に関する調査や教育活動を行い、その内容を授業に反映させていきたい。